Copyright©2018 一般社団法人日本イエナプラン教育協会 All rights reserved.

一般社団法人
Japan Jenaplan Association
日本イエナプラン教育協会
ニュースレター vol. 33 2018. 3月号

Contents

1．「日本イエナプラン教育協会」の第２ステージを迎えて（特別顧問　リヒテルズ直子）
2．　イエナプランスクール認定要件＆協会民主化について（日本イエナプラン教育協会代表　久保礼子 ）
3．　第２回全国大会報告（2017.7.29）
4．　第１回日蘭アカデミー報告（森沢典子）
5．　支部活動報告（各支部より）

「日本イエナプラン教育協会」の第２ステージを迎えて

普及と確立から、連携と持続的発展へ

特別顧問　リヒテルズ直子

2018年1月。拙著『オランダの個別教育はなぜ成功したのかーーーイエナプラン教育に学ぶ』（平凡社刊）でオランダ・イエナプラン教育を紹介した2006年から12年。干支で言えばちょうど一回りしたことになります。

思えば、日本では、イエナプラン教育の名前すらほとんど知られていなかった12年前。イエナプラン教育がドイツのペーターゼン教授の提唱によるものであることは一部では知られていても、発祥の地であるドイツ以上に、オランダにこの教育理念に根ざした学校が200校もあることなど、誰も知らなかったと思います。

それから12年。おかげさまで、イエナプラン教育の名前は、今では日本の教育界にいらっしゃる方なら必ずどこかで聞いたことがあるというほどに広がってきていると感じています。

ドイツで生まれオランダで大きく花開いたイエナプラン教育は、どうやら日本にも種を落とし、芽生え、ついに若木と言えるほどに育ってきたようです。これからは、この若木をどのように立派な大木として育てていくかが問われています。12年という歳月を経た今、そろそろ協会組織のあり方そのものを、次のステージに向けて、よりイエナプランらしい組織にしていくべき時が来ているのではないか、と感じています。協会の現理事たちも同意見で、会員の皆さんの意見を伺いながら、より堅固な組織にするために、協会組織の民主化と可視化に向けて力を注ぎたいとの意向です。

そこで、まず、これまでの歩みを会員の皆さんと共有し、これからの協会のあり方について、私なりの考えを述べさせていただきたいと思います。皆さんも、ぜひ、自発的・主体的に協会を支え、全国に広がるネットワークがお互いにとって学びとなるような、連携と持続的発展に向けた第２ステージについて、一緒に考えていっていただければと思います。

Copyright©2018 一般社団法人日本イエナプラン教育協会 All rights reserved.

これまで： 初期賛同者による普及と確立のための “支え” の時期

日本イエナプラン教育協会の設立は2010年10月。当初は任意団体として始まり、その後2014年に正式に一般社団法人として登録されています。

実は協会の設立に先立ち、2007年に初めてオランダからイエナプラン教育の専門家を迎えて東京と関西でいくつかのイベントを開催したのをきっかけに、イエナプラン教育に関心を持つ少数の人々でインフォーマルな勉強会を立ち上げていました。しかし、実際には、イエナプラン教育の日本における知名度はまだ低く、拙著を読んで関心を持たれた方もまだ少数で全国に散らばっていたため、協働的な活動を活発に展開するまでには至りませんでした。結局、東京、埼玉、千葉、福岡などの都市圏にいらっしゃる方たちが、私の帰国時に率先して講演会やワークショップを開き、自主的に研究活動に取り組むなどして、地道に日本におけるイエナプラン教育の種蒔き活動を続けてくださいました。

そして、2010年10月に任意団体として協会が設立されてからは、定期的にニュースレターを発行し、会員同士をつなぐ機会も増えました。一般書籍として刊行することが不可能な情報を、会員向けのライブラリーにあげるなどして、会員数の増加と会員がアクセスできる情報の充実にも努めてきました。

翌2011年3月からは、毎年春と夏に、オランダで１週間の合宿短期研修を開催しています。これまでの開催回数は12回、参加者延人数は、200人に上っています。この研修は、もともと、理科教育の専門家としてイエナプラン教育のワールドオリエンテーションに関心を持ってくださった京都教育大学の村上忠幸教授のお力添えによって開催されるようになったものです。以後、同大学のみならず、全国各地の教員・研究者・学生の皆さんが広く参加するようになり、参加者は、研修終了後も、自主的な研究を続けたり、それぞれの居住地を中心に共同で勉強会を開いたりと、各々の方法でイエナプラン教育の普及に貢献してくださっています。

同じ時期、大学生協旅行会も、「オランダの教育」をテーマにした学生ツアーを毎年3月と9月に企画するようになりました。この日程には必ず、イエナプラン教育のワークショップとイエナプランスクールの全日学校視察訪問が含まれ、オランダの教育に関心を持った若い学生さんの間でも、イエナプランスクールの現場を見てファンになったり研究対象にしようと動機付けられたりする人が増えていきました。

国内での知名度が一気に広がったきっかけは、2014年の正式な協会設立もさることながら、尾木ママで有名な元法政大学教授・尾木直樹先生が、アナザースカイというＴＶ番組で紹介してくださったことではなかったかと思います。尾木先生は以前からオランダの教育に関心を寄せてくださり、拙著の書評を書いていただいたり、共著を書かせていただいたりするなど、イエナプラン教育の振興に常日頃からお力添えをいただいています。これら多方面から提供いただいてきた跳躍台のおかげで、2015年には、グローバル教育情報センターからDVD「明日の学校に向かってーーーオランダ・イエナプラン教育に学ぶ」を刊行。さらに昨年2017年には、ほんの木からキンドル版で「イエナプラン教育：共に生きることを学ぶ学校」というタイトルの、オランダでも広く使用されている教員向け教科書を刊行できました。

このように、オランダ・イエナプラン教育が、2006年の拙著刊行以来、日本でこれほどまでに広がったのは、尾木先生や村上先生ら研究者の皆さんや刊行物の発刊人の皆さんのお力添えは言うまでもなく、日本の教育現場での経験を積みつつ日本の学校教育を真に子どもたちの幸福追求のために改革したいと奮闘していた方たちが、イエナプラン教育の魅力に魅きつけられ、その感動をもっと多くの人と分かち合いたいとの思いから、時間もエネルギーも惜しまず、自主的に買って出た普及活動によって生まれたものであると思います。実際、研究会の設立から、日本イエナプラン教育協会という一般社団法人にまで発展する

Copyright©2018 一般社団法人日本イエナプラン教育協会 All rights reserved.

のを支えてくれた現理事や代表、そして各支部の世話人の皆さんたちは、元教員または、現役の教員だったり、子どもたちに関わる仕事をしてきた方たちに他なりません。

これから： 民主的で目に見える協会組織による参加型の連携と持続的発展を求めて

このように、初期のイエナプラン教育普及運動は、まだイエナプラン教育が日本の教育界でほとんど知られていなかった頃に、私の著作に偶然触れて、その教育に惹かれた方たちによって支えられたものでした。協会の代表や理事の仕事も、こうした限られた数少ないメンバーが無給で担ってきたものです。

けれども、イエナプランの知名度の広がりと会員数の増加に伴い、初期の事情を知る人は少なくなり、残念なことに、新しく会員になられた方たちにとっては、協会の理事や事務局の仕事が、時としては、会員には見えにくい閉じられたもののように感じられることがあったかもしれません。

もしもそうであるのなら、それは、誰をも排除することなく、みんなで共に作り支えるというイエナプランの精神には程遠いものですし、より開かれた組織として再編されていくべきかと思います。現理事たちも同様の気持ちでいます。12年という期間を一つの区切りとして、改めて、協会を、一部のスターティングメンバーの努力に全てを頼ってしまう組織ではなく、会員がそれぞれに力を出し合い主体的に「担う」組織として、再編する段階に来たのではないか、と考えます。ここまで育って来た若木を、みんなで大木にしていくための組織のあり方です。

私はこれまで、日本での協会組織のあり方について、常に、オランダ・イエナプラン教育協会の組織を参考にしながら、アドバイスをしてきました。ニュースレターの刊行や支部の活性化、年次研究大会などはその良い例です。

今後協会組織そのものをよりイエナプランの精神に基づいた、会員が平等に主体的にみんなでアイデアを出し合いながら支えていく組織にするには、民主化と可視化とイエナプランスクールの認定要件という３つのキーワードが大切であると考えます。

民主化について

会長や理事、できれば、現在はまだ存在していない研究主事や会計等の役割を、会員からの立候補と選挙制にし、会員の中から、自発的に協会活動を担って全国的な普及運動に参加したいと考えている人たちに開かれたものにしていってはどうでしょうか。ただ、組織方針がある程度安定していて継続的であることは必要なので、任期を5、6年間と長めに設けることや、半数ずつの交代制にすることなどは、考慮しても良いのではないでしょうか。

また、支部の活動も、支部ごとにできるだけ主体的・民主的に運営されることが望ましいと思います。決して、本部からの情報や指示を待つ受け身の組織ではなく、自主研究テーマなどを設ける、独自の普及活動や新しい試みに取り組むなど、クリエイティブな活動を豊かに展開して欲しいと思います。本部の代表や理事の仕事は、支部間交流を通して、会員同士が建設的なリフレクションや、学び合いの機会を持てるような方針を決定し、これをファシリテートすることにあると思います。

Copyright©2018 一般社団法人日本イエナプラン教育協会 All rights reserved.

可視化について

上のこととも重なりますが、会長や理事、研究主事・会計などの役割を持つ人々を立候補と選挙で選ぶことによって、組織は、常に新しく入る人たちのアイデアに対しても、オープンで流動的でダイナミックなものになっていくのではないでしょうか。そうした動きを、「可視化」するためにも、組織内部での動きを定期的に会員に伝える必要が生じてくると思います。ニュースレターにおける本部からの報告、支部からの報告は、重要な意味を持つものです。

また、現在、イエナプランスクール第1号に向けて準備が進んでいますが、そうした、学校や幼稚園や（学童）保育園づくり・その他の施設や学校の中での部分的な取り組み・行政との連携などについても、協会が全体として建設的に支えられるよう、可能な限りで、協会に報告し、会員と共有できるものにしていけると良いと思います。これについては、Webサイト、Facebook、Zoomなど新しいツールを活用すれば、効率的かつ低コストでの展開が可能だと思います。

日本におけるイエナプランスクールの質を維持するために

オランダ・イエナプラン協会も、初めは、日本と同様に、スース・ フロイデンタールを中心に、イエナプラン教育に魅せられた学校の先生たちが始めた勉強会が母体でした。それが、学校数の増加とともに、現在のような、学校単位のメンバーシップによる協会組織へと発展していきました。日本では、今のところ、個人単位のメンバーシップですが、ゆくゆくは、たくさんのイエナプランスクールができ、大きな協会へと発展していくことが望まれます。

何れにしても、元来、協会が持つ役割には、会員相互の交流の他に、外部に対する質の維持という重要な課題があります。「教育の自由」により、オランダには、学校に非常に大きな自由裁量権がありますが、その反面、同時に、教育監督局という機関があり、学校での実践を常に監督・審査しています。学校は、自由裁量権を得ていると同時に、ビジョンを明確にし、責任ある実践を展開していなければならないのです。

そうした事情から、オランダでは、早い時期に、スース・フロイデンタールが、8つの原則を示して、国内のすべてのイエナプランスクールが共有するビジョンとしました。以後それは、（ケース・ボットとケース・フルーヒデンヒルが草案を作り協会の大会で全会一致で採決された）20の原則に取って代わられ、協会に属しているイエナプランスクールは、学校要覧の中に、必ず20の原則を盛り込まなければならないこととなりました。現在では、コア・クオリティに基づいた地域単位での継続的な向上活動も、イエナプランスクールを名乗る上での条件になっています。

こうした施策は、現在すでに、イエナプランスクールという名称での学校設置の動きが出てきている日本でも、そろそろ考慮しておく必要のある課題だと思います。すなわち、何らかの教育機関がイエナプランスクールと名乗る場合、「日本イエナプラン教育協会」は、何を要件にその名称を名乗ることを認定するか、ということです。

これは、オランダに習うとすれば、やはり、①20の原則を学校要覧に盛り込んで、実際に11－20の原則にある条件に基づいて、その学校を運営していることと、②コア・クオリティに基づいて向上努力をしているという要件が適切なのではないか、と思います。また教職員については、まだ、日本国内に専門家が少ない現状ですので、当面、オランダでの研修を受け修了証を得ている人が最低何人かいるという条件もあって良いのではないでしょうか（この点は、日本国内に専門的な知識を得ている人たちが増えるにつれ、数年後には徐々に変更して行けば良いと思います）。

Copyright©2018 一般社団法人日本イエナプラン教育協会 All rights reserved.

先月（2月）初頭、OECDのAsia Society, Center for Global Educationは、”Teaching for Global Competence in a Rapidly Changing World（急速に変化する世界においてグローバル能力を教える）”という報告書を出しています。その中で、グローバル能力として、①世界を、身の回りの環境と関連づけて探求する力、②自分自身と他者の立場を理解し受け入れる力、③自らの考えを効果的に多様な受け手に伝達する力、④問題解決のために自らの考えを行動に移す力という4つを挙げています。これは、フロイデンタールが示した8つの原則や20の原則が目指すものとほぼ一致しています。また、こうした力を育てるための手段としてこの報告書は、構造的なディベート、組織されたディスカッション、時事についてのディスカッション、遊び、プロジェクトベース学習、実践学習などを示唆していますが、これらの多くを、イエナプランスクールでは、対話・遊び・仕事・催しという4つの基本活動や、本物を題材としたワールドオリエンテーションの中で、すでに90年も前から、そしてオランダでは50年もの間、多くの学校で実践してきており、豊かな経験を積んでいます。

それほどに、イエナプラン教育のビジョンや方法は、時代を先取りしていたものなのです。今、ようやく、世界がそれに追いついてきているように感じています。会員の皆さん、インクルーシブな世界に向けて、グローバルな力と志を持つ人間を育てるために、日本におけるイエナプラン教育の一層の普及を目指して、みんなで力を出し合い、協会活動を一緒に主体的に支えていってくださるようにお願いします。

Copyright©2018 一般社団法人日本イエナプラン教育協会 All rights reserved.

イエナプランスクール認定要件と協会民主化についてのお知らせ

日本イエナプラン教育協会代表　久保礼子

早いもので本協会が一般社団法人となって3年半が経ちます。その間、日本の社会も徐々に変化し、巻頭のリヒテルズさんの文章にもありますように、協会の活動も次のステップを迎える時期にきたことを感じております。

そこで、理事・事務局で話し合いを重ね、さらに支部代表の方々のご意見も参考にさせていただきながら、次の二つのことを決定いたしました。ご報告させていただきます。

１．日本イエナプランスクール認定要件の設定

現在長野県佐久穂町において、2019年4月開校に向けた、しなのイエナプランスクール大日向小学校の準備が進められております。それに先立ち、今後も各地で同じような動きが起きてくることも考慮して、イエナプランスクールとしての認定要件を設定することが必要だと考えました。特別顧問であるリヒテルズさんのご意見も伺いながら、理事会において討議決定したのが以下の項目です。

【 日本イエナプランスクール認定要件 】

（１）20の原則とコアクオリティが学校要覧に明記されており、教育計画に反映されていること。

（２）日本イエナプラン教育専門教員資格（注１）を持つ者が1名以上、かつオランダ短期研修（注２）修了者が2名以上組織にいること。
ただし、専門教員資格を持つ者がいない場合、オランダ短期研修修了者が3名以上いて、そのうち2名が日本イエナプラン教育協会が主催する研究実践発表会において実践発表を行い、協会特別顧問及び理事の審査承認を得ることができれば、本要件を満たす。

（３）保護者の学校運営への参加の仕組みが公開されていること。

（４）日本イエナプラン教育協会の法人会員であること。（公立教育機関を除く。）

（５）日本イエナプランスクール連合会（注３）に参加登録すること。

※会員から特に見直しの要望がでない限り5年間はこの方針を維持する。

※（注１）日本イエナプラン教育専門教員資格とは……３ヶ月間のオランダ研修を終了し、かつ協会が主催する研究実践発表会で日本の教育現場での実践（もしくは日本の教育実践に関連づけた研究）の発表を行い、日本イエナプラン教育協会特別顧問及び理事の審査で承認される資格である。今後、協会は、日本国内でもイエナプラン教育専門教員資格が取得できるよう、環境を整えることを目指す。

※（注２）オランダ短期研修とは……毎年、春と夏に、オランダで行われる1週間から2週間の研修をさす。（2019年より春季研修は2週間に拡大される予定）

※（注３）日本イエナプランスクール連合会とは……日本イエナプランスクール認定校、協会理事、協会事務局からなり、認定校が主体となって運営する研究組織。

Copyright©2018 一般社団法人日本イエナプラン教育協会 All rights reserved.

２．協会組織民主化にむけて

これまで、任意団体の時から協会の運営に関わってきたメンバーが、理事及び事務局を務めてきました。小さな組織でもあり、全員手弁当での、また仕事や家族の事情をお互いに配慮しあって何とかやりくりしていく、そんな10年間だったと思います。

しかし、会員が増え、イエナプラン教育に対する関心も広がってきた今、組織としての基盤をさらに固め、活動規模を広げていく時期にきていると考えました。

そのためにまず、理事選出をより見えるものにして、広く多くの方が協会運営に関わることができるようにすることが重要であると考えます。1に挙げたイエナプランスクールの認定要件の決定や、日本イエナプラン教育専門教員の承認は、民主的な理事選出の裏付けなくしてはできないことだと思っています。また、理事選出に会員の皆さんが関心を持っていただくことで、日本イエナプラン教育協会が、会員によってより主体的に参加運営される学びの場となると考えています。

そこで、以下の要領で「理事を選挙制にする」ことを決定いたしました。

理事定員　4人～6人
理事任期　4年（引き継ぎをスムースにするため2年ごとに半数ずつ交代する。）
　　（2019年第1回選挙は、現理事が2名残留した上で行う。）
代表理事　新理事の合意で選出
被選挙権　協会正会員であること
選挙権　　協会正会員であること
事務局　　理事が事務局を兼ねる。さらに、理事会にて理事以外のメンバーを選出することができる。

スケジュール

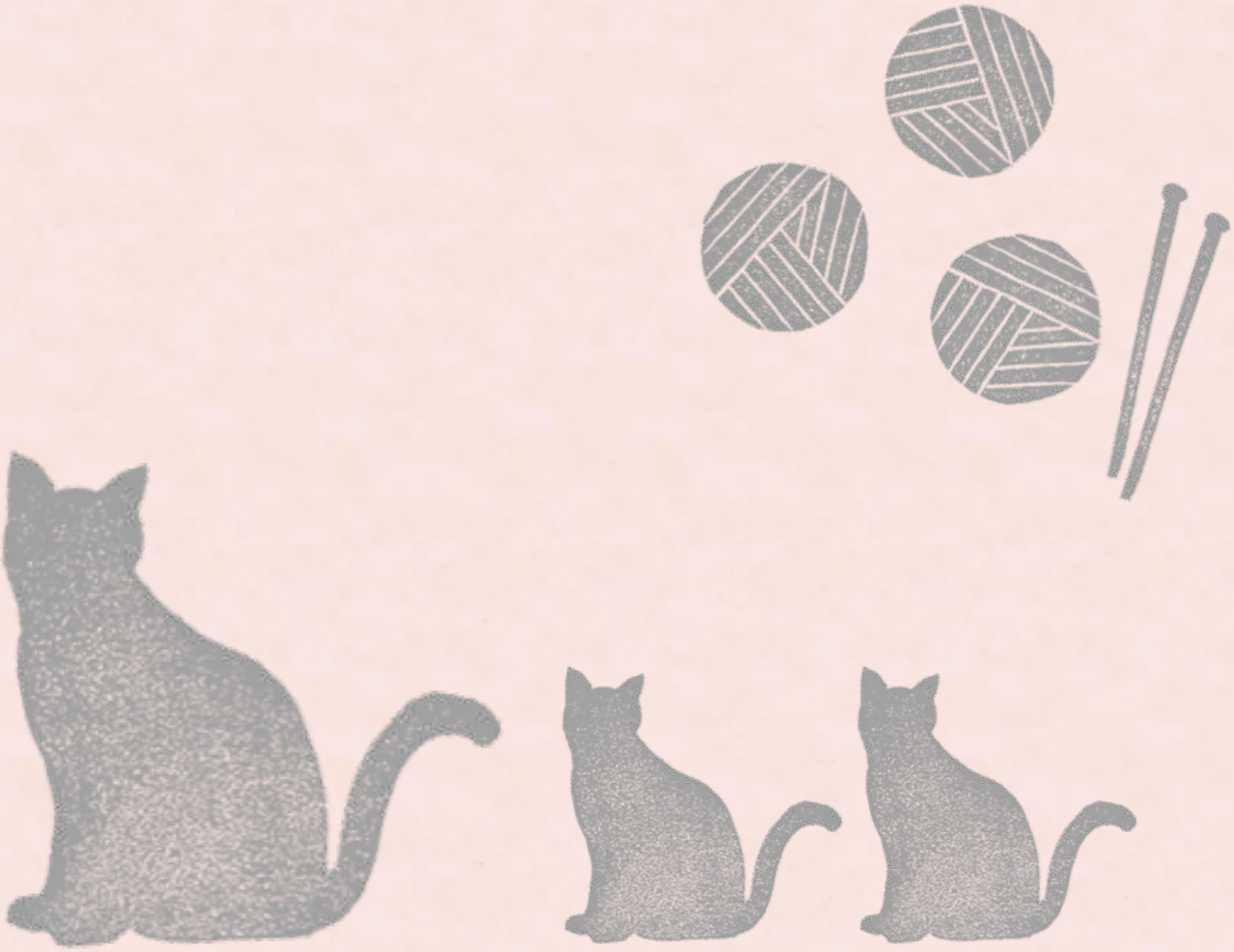
2018年	3月	ニュースレター発行。民主化について会員に周知する。 正会員募集開始
	7月	全国大会にて会員へさらなる周知をすすめる。
2019年	1月	選挙管理委員会立ち上げ
	4月	理事選公示、立候補者募集（理事立候補への想いの表明）
	5月	理事選挙（ネット投票）、新理事会にて代表を選出
	6月	総会にて承認の上、新体制スタート

※年会費　正会員5,000円　賛助会員3,000円
　　法人会員 30,000円　とする。
　　（2018年4月以降の更新時より）

Copyright©2018 一般社団法人日本イエナプラン教育協会 All rights reserved.

これまでも会員の皆様の支えがあってやってくることができました。今回のような変革を目指すことができるのも、協会が少しずつ成長をしていっている証だと思っています。そしてイエナプラン教育を貫く人間観、社会観、教育観は普遍的であり、私たちが絶えず目指していくものであることには、今後も何も変わりはありません。これからも、この協会という場で互いに学びあい、日本の公教育に変化をもたらすうねりを、会員の皆様と、共に起こしていきたいと思っています。

どうぞ皆様のご協力を今後ともよろしくお願い申し上げます。



Copyright©2018 一般社団法人日本イエナプラン教育協会 All rights reserved.

第2回全国大会＠大阪（2017.7.29）
～異年齢の学びとワールドオリエンテーションの視点から～

2017年7月29日（土）第2回日本イエナプラン教育協会全国大会が開催されました。大阪支部の協力で、大阪での開催が実現。前大会に比べて西日本からの参加者も多く、盛況のうちに終了しました。

今回のテーマは「異年齢の学びとワールドオリエンテーションの視点から」でした。

以下3人の方からの素晴らしい実践報告が行われました。

① 中嶋 尊弘さん（東京都大島町立つつじ小学校教諭）

校内研究テーマとして学校全体でワールドオリエンテーションに取り組む、という公立小学校における画期的な実践で、その経緯は、参加者に大変多くの刺激を与えてくれました。

② 高原 麗奈さん（箕面こどもの森学園スタッフ）

フレネ教育の考え方と方法に基づくオルタナティブスクールとして13年の実績を持ち、ＥＳＤ（持続可能な開発のための教育）に取り組んできたこどもの森学園の中学部の３年間にわたる実践報告で、ワールドオリエンテーションの魅力や可能性を具体的に見せてくれました。

③ 本川 良さん（宮城県石巻市立雄勝小学校教諭）

東日本大震災からの復興の中で、異年齢での学び・探究的な学びに地域と連携して取り組む実践報告でした。へき地小規模校を強みと捉えての意欲的な実践は、参加者に多くの刺激を与えてくれました。

発表後は、質疑やリフレクションの時間がゆったりとあり、発表者と参加者との活発な意見交換や、参加者同士の熱心な会話や情報交換が会場のあちこちで行われていました。

参加者からは、「１人での初めての参加だったけれど安心して話ができて良かった」という声や、「難しいと思っていたワールドオリエンテーションだがやってみようと思った」という声が聞かれました。

実践発表の詳しい内容については、後日、協会のＨＰに「全国大会の報告」をアップしますので、そちらを是非お読み下さい。

Copyright©2018 一般社団法人日本イエナプラン教育協会 All rights reserved.

日蘭アカデミー報告

報告：森沢典子

2017年9月から12月にオランダで開催された第1回イエナプラン専門教員養成研修に参加しました。エヒテンの森の奥で、蓮の池や東屋のある美しい庭を眺めながらの研修は、イエナプラン教育の歴史や理論だけでなく、JASの講師たちがグループリーダーとなってサークル対話やワールドオリエンテーションを学んだり、仲間と協働して探究型の学びをしたり、森を散策したり、ドイツまで遠足したりと、私たちがイエナプラン小学校に入学したかのような「本物の体験」が多くありました。

笑い、語り、失敗しながら互いの関わりを深め、自己をみつめる作業の連続でもありました。そしてこれから先、自分がどんなビジョンを持つのかを問われ続けました。日常生活でも12人の参加者と寝泊まりし、交代で掃除や炊事をし、食卓を囲みながら、とにかくよく笑いよく語らいました。

期間中、2週間ごとにオランダ各地に分かれ、イエナプラン教育の小学校や中高一貫校で実習をさせていただきました。縦割りのクラス編成や、保護者も子どもたちもゆったり過ごせるオープンスペース、チャイムもなく、ゆるやかに枠を解かれた仲間・時間・空間を子どもたちが縦横無尽に自分の意志で動き、好きな場所で気の合う仲間と遊び、学び合う姿などは、豊かで、有機的で、むしろこれが人の自然な姿だと私の肩の力も抜けていきました。一見雑然としていて、「いつ学校が始まるの？」と思う人もいるかもしれませんが、一人一人がありのままの姿で安心して過ごせること、好奇心を満たしながら学べること、仲間と関わりながら自分のリズムで動けること、その日の出来事や困ったことは何でもよく対話すること、友だちとたくさん遊べること、失敗も責任も学べること、自分を知り他者を知ること・・・これらを経験しながら幸せな気持ちで過ごせることと、学校という 場所にそれを保証していこうと大人たちが本気で働いていることが、イエナプラン教育のスゴイところでした。

Copyright©2018 一般社団法人日本イエナプラン教育協会 All rights reserved.

実習中は、保護者や校長先生のお宅にホームステイさせていただき、オランダの家庭での日常生活を体験できたことも貴重でした。校長先生は本当に週4勤務でしたし、夕方6時には夕食を食べました。家族みんなでボードゲームをして、よく語らい大笑いして過ごしました。散々遊んで、ふと時計を見るとまだ7時台なのが嬉しい習慣でした。水曜日は学校も半日で終わるので、実習仲間と街の市場に出て魚のフライを頬張るのも楽しみでした。 各地での実習とホームステイを終え、経験や学びを研修所に持ち寄り12人でシェアするのも大きな喜びでした。 研修所では、この研修を企画、コーディネートしてくださったリヒテルズ直子さんが一緒に泊まり込んで、朝から夕方まで毎日付きっ切りで通訳をしてくださいました。オランダ講師陣たちと長年交流を育み、イエナプラン教育を日本に紹介し続けた直子さん自らの通訳、コーチングは、イエナプラン教育を学びたい者にとってこれ以上ない贅沢でした。時に母親のように私たちの健康を気遣い何でも相談に乗ってくださり、料理を振舞ったり、句会を開いたりし、この研修の全てを支えてくださいました。ヒューバートたちもウェルカムパーティから卒業式まで、いつも最善の機会と心尽くしのおもてなしを用意してくれました。彼らが用意してくれた環境、言葉、暖かさ、生きる姿の中に「イエナプラン」が見え隠れし、本当に多くの学びがありました。これからどんな形で生かせるのか、私自身の探究は続いています。

Copyright©2018 一般社団法人日本イエナプラン教育協会 All rights reserved.

支部報告 （２０１７年８月から２０１８年３月時点までの活動をまとめてご報告いたします。）

【埼玉支部】

２０の原則を読んでいたのですが、夏の全国大会を受けて、秋はその映像を見ながら話をし、長期オランダ研修の報告会からも学びを深めました。春からまた２０の原則を読み始める予定です！

《活動日》

・９月１７日（日）　「日本イエナプラン教育協会全国大会から学ぶ①」
・１１月５日（日）　「日本イエナプラン教育協会全国大会から学ぶ②」
・２月１２日（月）　「長期オランダ研修から学ぶ」

（報告：田村悠子）

【千葉（浦安）支部】

千葉支部はイエナカフェを定期的に開催しています。また、時々イベントを行なっています。
次の企画も温め中ですので、乞うご期待！

《活動日》

・２０１８年2月１０日（土）
　徹底対談「リヒテルズ直子× 前川喜平～これからの教育、社会… あなたは何を求めますか？～」

待ち望んでいたリヒテルズさんと前川さんの「対談」が実現しました。講演後の対談では教育行政のトップにいた前川さんと、海外から日本の教育を見つめ続けてきたリヒテルズさんの思いが重なり、これからの教育について、参加者と共に、じっくりと考える場になりました。途中、世田谷区長・保坂展人さんのサプライズ登壇もあり、会場は盛り上がりました。

（報告：山田順子）

Copyright©2018 一般社団法人日本イエナプラン教育協会 All rights reserved.

【東京（江東）支部】

イエナカフェ＠オンラインと題して、Zoomを使っての対話の会を月1回開催していくことにしました。オランダからの情報も発信いたします。

《活動日》

・2月１１日（日）　第1回イエナカフェ＠オンライン
　リヒテルズ直子さんの帰国に合わせた「オランダエデュweek」参加者の振り返りの会を行いました。
・３月９日（金）　第2回イエナカフェ＠オンライン
　4月以降も、毎月第2金曜日の21時半から23時で開催する予定です。

（報告：川崎知子）

【東京（世田谷）支部】

「２０の原則を読む会」として継続しています。現在は、新学習指導要領を読み進めつつ、イエナプラン教育との繋がりや２０の原則について考え、おしゃべりしています。

《活動日》

９月２４日（日）、１０月２９日（日）、１１月２５日（土）、１月１４日（日）、２月１８日（日）に実施しました。次回は４月８日１３時から１６時で開催予定です。

（報告：中川 綾）

【長野（中信）支部】

イエナプラン教育の考え方をたくさんの人に知ってもらい、日本の教育を変えていきたいという思いで活動しています。

《活動日》

・７月３０日（日）　第2回イエナプラン教育勉強会（明科公民館）
　「なぜ、イエナプラン教育？」
・９月９日（土）　第3回イエナプラン教育勉強会（シャロムヒュッテ）
　「オランダイエナプランスクール視察報告」
・１１月１９日（日）　第4回イエナプラン教育勉強会（シャロムヒュッテ）
　「佐久穂町イエナプランスクール『秋のがっこう』参加報告」
・２月４日（日）　第5回イエナプラン教育勉強会（KAJIYA）
　「新学習指導要領を読もう！」

（報告：瀧澤輝佳）

Copyright©2018 一般社団法人日本イエナプラン教育協会 All rights reserved.

Ｎｅｗ！ 新支部結成 【長野（東信）支部】

短期研修参加時に中信支部の方に出会い、リテヒルズ直子さんにお会いし、短い時間でしたがイエナプラン教育を学ぶ中でより深めたいという思いから、長野（東信）支部を発足することを決めました。
新しく佐久穂町にできるイエナプランスクールの周辺地域の支部です。新しい学校ができることに興味関心がある方々が増えてきました。
支部立ち上げ会、オランダ短期研修報告会、勉強会を実施してきました。今後はDVDを見ながら、サークル対話を中心とした「教育について考える会」を実施していく予定です。
Facebookを中心に発信をしていきますが、長野県内に南信支部、中信支部があるため、連携して何かできたらと考えています。

《活動日》
・９月９日（土）イエナプラン報告会 vol.1　（コワーキングスペースiitoco!!）
　短期研修後の報告会、実際に出会った方、学校を写真を見せながら説明。
・１０月１５日（水）　イエナプラン勉強会 vol.1 長野県東信 支部立ち上げ
　（コワーキングスペースiitoco!!）
　中川綾さんにイエナプランの教育の基本を説明いただき、サークル対話で各々シェア。
・３月１１日（日）　イエナプラン勉強会 vol.2 （コワーキングスペースiitoco!!）

（報告：大越要）

【長野（南信）支部】

ＤＶＤ鑑賞と「２０の原則」を読みながら、子ども、家庭、職場のことなどをおしゃべりしています。

《活動日》
・７月１５日（土）午後　駒ヶ根市内メンバー宅
　イエナカフェ＠伊那谷Ｖｏｌ．１０　「イエナプラン教育の学校建築・原則１１」
・９月９日（土）午後　　安曇野シャロムヒュッテ　※中信支部勉強会に参加
・１２月９日（土）午後　伊那市コミュニティカフェ・セジュール
　イエナカフェ＠伊那谷Ｖｏｌ．１１　「ＤＶＤ基礎編・原則１２」
・１月２０日（土）午前　伊那市喫茶はるか
　イエナカフェ＠伊那谷Ｖｏｌ．１２　「はじめてのイエナプラン教育・駒ケ根市の公立小での実践発表」
・３月１７日（土）午後　伊那市ワイルドツリー
　イエナカフェ＠伊那谷Ｖｏｌ．１３　「違いの受容インクルージョン・原則１３」

（報告：幕内那菜）

Copyright©2018 一般社団法人日本イエナプラン教育協会 All rights reserved.

【愛知（名古屋）支部】

イエナプラン教育のコンセプトである「２０の原則」を通して、教育について学びあう場です。

《活動日》

・２０１７年９月２日（土）午後 名古屋市
　イエナカフェ@ナゴヤ ２０の原則を読む 「原則３について」
・２０１７年１１月４日（土）午後 名古屋市
　イエナカフェ@ナゴヤ ２０の原則を読む 「原則４について」
・２０１８年１月２０日（土）午後 名古屋市
　イエナカフェ@ナゴヤ ２０の原則を読む 「原則５について」
・２０１８年２月１０日（土）午後 名古屋市
　イエナカフェwith『仙南の会』 教育について
・２０１８年３月１０日（土）午後 日進市
　イエナカフェ@愛知県日進市 「原則１について」

（報告：若杉逸平）

【福岡支部】

《活動日》

・１月１７日（土）
　オランダ３ヶ月研修に参加した久保の報告会を行いました。あっという間の3時間でした。
・２月１７日（土）、１８日（日）
　埼玉県在住の甲斐崎博史さんを講師にお招きして、丸２日間のワークショップを行いました。アドベンチャープログラム、ライティングワークショップ、リーディングワークショップです。実際に体験しながら、そしてその意味を理論的に学びながらの時間は、とても充実したものとなりました。

（報告：久保礼子）

Ｎｅｗ！ 新支部結成【帯広支部】

3月23日、第１回勉強会を開催し、新たに支部としての活動をスタートしました！

Copyright©2018 一般社団法人日本イエナプラン教育協会 All rights reserved.

Ｎｅｗ！ 新支部結成【オランダ支部】

オランダ・イエナプラン教育専門教員養成研修中のとある日のこと。研修後も数人がオランダに残ることからふと、笑いとともに浮かんだ " オランダ支部 " 。それがきっかけとなり、すでにイエナプランへの関心や実践経験のあるオランダ在住のメンバーも集って結成となりました。私たちは、経験も得意分野も住む街も異なるメンバーで構成されています。この違いを活かしながら、遊び心と一緒に、オランダでこそできる学びづくりに取り組み始めました。

２０の原則や時事・哲学サークルなどをテーマに、オランダ在住の方たちを集めての開催を計画中です。

オランダ支部では支部通信を発行します。協会HPに公開されていますので是非ご覧ください。

《活動日》

・１月１２日（金）in ユトレヒト　第１回ミーティング：活動のアイディア集め
・２月２０日（火）オンライン　第２回ミーティング：３月の活動について他
・３月２２日（木）in デン・ハーグ　第３回ミーティング：哲学ワークショップについて

（報告：山地芽衣）

各支部のご案内

・ 北海道（帯広）支部 … hokkaido-obh@japanjenaplan.org
・ 埼玉 支部 … saitama@japanjenaplan.org
・ 千葉（浦安）支部 … chiba@japanjenaplan.org
・ 東京（江東）支部 … chiba@japanjenaplan.org
・ 東京（大田）支部 … chiba@japanjenaplan.org
・ 東京（世田谷）支部 … info@japanjenaplan.org
・ 長野（中信）支部 … matsumoto@japanjenaplan.org
・ 長野（南信）支部 … inadani@japanjenaplan.org
・ 長野（東信）支部 … toshin@japanjenaplan.org
・ 愛知（名古屋）支部 … nagoya@japanjenaplan.org
・ 関西（大阪）支部 … kansai@japanjenaplan.org
・ 福岡 支部 … fukuoka@japanjenaplan.org
・ オランダ支部 … oranda@japanjenaplan.org

※ 千葉（浦安）支部、東京（江東）支部、東京（大田）支部は共同 運営しています。

発行元 ： 一般社団法人 日本イエナプラン教育協会　[住所] 〒155-0033 東京都世田谷区代田6-12-33 Sビル１階
編　集 ： 一般社団法人 日本イエナプラン教育協会　[ＨＰ] http://www.japanjenaplan.org/　[mail] info@japanjenaplan.org